

## 2021年度 1級面接試験合格 事例相談者タイプ別攻略 アドバンス講座 2日間

合意を得られない原因の究明とピンチをチャンスに変える講座です。苦手であっても、その事例相談者は不安をもって、困って相談に来ています。

大阪	11月13日(土) 9:30~16:30 会場: たかつガーデン				11月14日(日) 9:30~16:30 会場: 神戸大学 大阪凌霜クラブ (梅田)			
東京	11月20日(土)・21日(日) 9:30~16:30 会場: 東京都産業貿易センター 浜松町館							
受講料 税込み	2日間	2021年通学キャリア塾 25,000円	会員 27,500円	一般 30,000円	1日受講	2021年通学キャリア塾 15,000円	会員 17,500円	一般 20,000円
内容	<p>・1級指導面談では、相談者に寄り添うことが一番大事と思っている事例相談者、相談者の問題解決のためにあれこれアドバイスする事例相談者、前職の経験や自身の価値観からアドバイスをする事例相談者が登場します。こうした事例相談者は、本人としてクセや偏りに気づかず、良かれと思ってそうしているため、指導面談の場で、「気づき」を促すのは、むずかしいと思いがちです。しかし、各事例相談者の何が問題かを分析することで事例相談者の面談のクセに気づいてもらい、関係構築力やカウンセリング理論などを使って、「本人が気づいていない問題」を把握する、すなわち「問題把握力」の「事例指導者視点の問題把握力」に得点を付けてもらうための、アプローチすることは可能です。</p> <p>・1日目は、関係重視型(ケース1)のタイプ分析(自分が気がつかない面談上のスキルの偏り)を理解し、気づきを促し、目標に合意を得ることを目標にします。さらに、相談者の問題解決のためには、関係重視だけではないことに気づきを促し、キャリアコンサルタント視点から気づきを促すためのレッスンまで進みます。午前中に分析をし、午後からロープレを行います。講師から各自にフィードバックがあります。</p> <p>・2日目は問題解決型(ケース2)と、相談者対応型(ケース3)の事例相談者の特徴や本人が気づいていない面談のクセを理解し、それについて気づきを促し、目標に合意を得ることを目指します。さらに、相談者の気持ちへ応答することで相談したいことの内容を的確に把握できるようになることや、事例相談者の価値観や経験から面談することはキャリアコンサルタントのあるべき姿ではないことに気づきを促し、スキルの問題としレッスンすることまで進みます。1日目のおさらいも行い、2つのタイプの分析をした後で、午後から、どちらかのタイプのロープレを1回行います。講師から各自にフィードバックがあります。</p>							

事例相談者	3つのタイプの特徴を把握する講座を受講することで、理解し身につく内容
関係重視型	関係構築はできている(主観的にはできているつもりである)が、キャリアコンサルタント視点の問題把握が苦手なタイプ →関係構築を大切に思っていて、傾聴ができていると思込んでいる事例相談者にどのような気づきを促し、指導するかを考えます。
問題解決型	関係構築(相談者の気持ちへの応答)をしないまま、相談者の問題解決のためにあれこれ方策を提案してしまうタイプ →困っている相談者に対し、解決してあげたい事例相談者に相談者の主訴を把握することへの気づきを促し、指導方法を考えます。
相談者対応型	関係構築も問題把握もともに苦手で、自分の価値観や経験などに基づき、自分勝手に面談を進めていくタイプ →自分の価値観や経験で面談をしているCCに役割の気づきを促し、面談スキルをどのように改善するか、指導方法を考えます。